

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2006-224504(P2006-224504A)
【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)
【年通号数】公開・登録公報2006-034
【出願番号】特願2005-42150(P2005-42150)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月30日(2008.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被噴射媒体に液体を吐出する液体噴射ヘッドと、
当該液体噴射ヘッドに対向配置され、前記被噴射媒体を支持する被噴射媒体支持部とを
備えた液体噴射装置であって、
前記被噴射媒体支持部は、前記液体噴射ヘッドより吐出された液体を受けて吸収して排
出する液体吸収材を有し、
当該液体吸収材は、吸収した前記液体を排出側へ誘導する細溝の液体流路が設けられて
いることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 2】

前記液体流路は、排出側端部が開放され、他側端部が閉塞されていることを特徴とする
請求項 1 に記載の液体噴射装置。

【請求項 3】

前記液体吸収材は、吐出される前記液体を受けて吸収する液体受部と、この液体受部で
吸収された液体を排出する液体排出部とを有し、前記液体排出部が排出側に向かって先細
りの形状に形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の液体噴射装置。

【請求項 4】

前記液体受部と前記液体排出部を補強する補強部材を有し、前記液体受部と前記液体排
出部を前記補強部材に溶着するときに前記液体流路を形成することを特徴とする請求項 3
に記載の液体噴射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】液体噴射装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、液体噴射装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

例えば、液体噴射装置の1つであるインクジェット式プリンタは、被記録媒体の1つとしての記録用紙に向かってインク滴を吐出する複数のノズル列を有する記録ヘッドと、記録用紙を支持して記録ヘッドに対する記録用紙の位置を規定するプラテンを備えている。このようなインクジェット式プリンタには、記録用紙に余白無く記録を行う、いわゆる縁無し記録を実行可能なものがある。縁無し記録を実行可能なインクジェット式プリンタは、上記プラテンの上面に記録用紙の縁から外れたインクを打ち捨てるための溝穴が形成されており、インク打ち捨て溝穴内にはスポンジ状のポリウレタン等の空隙率が高くインク吸収性の良い材料から成るインク吸収材が充填装着されている。そして、インク打ち捨て溝穴に打ち捨てられたインクは、インク吸収材に吸収されて廃液部へ誘導されて貯留されるようになっている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的達成のため、本発明の液体吸収材では、被噴射媒体に液体を吐出する液体噴射ヘッドと、当該液体噴射ヘッドに対向配置され、前記被噴射媒体を支持する被噴射媒体支持部とを備えた液体噴射装置であって、前記被噴射媒体支持部は、前記液体噴射ヘッドより吐出された液体を受けて吸収して排出する液体吸収材を有し、当該液体吸収材は、吸収した前記液体を排出側へ誘導する細溝の液体流路が設けられていることを特徴としている。これにより、吸収された液体は、毛細管現象により液体流路を伝わって排出側へ確実に誘導される。また、前記液体流路は、排出側端部が開放され、他側端部が閉塞されていることを特徴としている。これにより、吸収された液体は、排出側とは逆側の端部にて堰き止められ、排出側へ略全量誘導される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、前記液体吸収材は、吐出される前記液体を受けて吸収する液体受部と、この液体受部で吸収された液体を排出する液体排出部とを有し、前記液体排出部が排出側に向かって先細りの形状に形成されていることを特徴としている。これにより、液体流路を伝わって液体排出部に到達した液体は、排出側から効率良く排出される。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、前記液体受部と前記液体排出部を補強する補強部材を有し、前記液体受部と前記液体排出部を前記補強部材に溶着するときに前記液体流路を形成することを特徴としている。これにより、液体流路を簡易に形成することができる。

【 手続補正 8 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】